

# セルフモニタリング報告書（令和4年度分）

令和5年4月28日

施設名            苫小牧市ときわスケートセンター

指定管理者            北海道ビル総合管理株式会社

所管課名            スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
<b>1 事業計画の達成度</b>		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	コロナ禍影響がほぼ解消され、計画に沿って管理運営できたと判断します。	(A)・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	コロナ禍影響がほぼ解消され、利用者数は33,770人で、対前年度10,695人(46.3%)の増となりました。利用率は62.0%で、対前年度17.9%の増となりました。	(A)・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	コロナ禍の沈静化に伴う行動規制の緩和により、カーリング体験が、実施件数36件、参加延人数1,127人で、対前年度30件(500%)、926人(461%)の大幅増となりました。ブルームボール教室(8回、126人)、アイスホッケー教室(2回、17人)は、対前年度微増の結果となりほぼ計画通り推移しました。	(A)・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	災害時対応の手引の策定に伴う協定書を苫小牧市と取り交わし、「一時避難場所」として施設を開放し、市民の皆様へ安心、安全を提供しております。また、リンク利用保護者や近隣住民からの要請があれば会議室の貸出しを行っています。	(A)・B・C・D・E
<b>2 利用者の満足度</b>		
利用者の満足が得られているか。	アンケート結果では「施設全体について」の満足度が50%となっていますが、データ数が少なく精度に欠けるものと考えます。また、建屋及び設備機器類の老朽化に伴い、利用者の皆様には様々な点でご不便をお掛けしておりますが、今後ご理解とご協力を得ながら運営して行きたいと思っております。	A・(B)・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	アンケートボックスを常設し、来館者にお声掛けしご要望の把握に努めています。	A・(B)・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	可能な限り迅速に対応しています。	(A)・B・C・D・E
<b>3 管理運営の効率性</b>		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	一般滑走時は利用者ゼロの時間帯には消灯して節電に努めています。また、エコキュートの使用に関してもデマンド管理を徹底し、必要最小限の運転を心掛けています。	(A)・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また経費が最小となるような取組はされているか。	経費節減のため、次の作業を施設職員が行っています。 ・敷地内の草刈作業(3回/年) ・各所塗装補修作業(選手控室・通路壁、リンクフェンス内壁、他) ・除雪作業(但し降雪15cm未満の場合に限る)	(A)・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	自主事業の内、カーリング体験実績が大幅な伸びを示し、コロナ禍前の水準まで回復しました。また、貸切・大会利用等変更が発生した場合は、出来る限り(一般滑走を組入れる等)空白時間を埋めて利用率の向上に努めています。	(A)・B・C・D・E

4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	人員配置及び職員の管理体制は、協定に基づき、適正に実施しています。	(A) B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	次の研修を実施しました。 ①普通救命講習会 ②甲種防火管理講習会(新規) ③自衛消防訓練(年2回)	A (B) C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理にされているか(使用料の減免、還付含む)。	スポーツ協会、各関係団体と日程調整会議を行い、これに基づき公正・平等な利用日程を作成し実施しています。使用料の減免、還付につきましても条例に基づき、適正に処理しています。	(A) B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	個人情報保護法を遵守し、個人データの秘密保持と漏洩防止に努め、適正に管理しています。	(A) B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	適正に処理しています。	(A) B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に実施しています。	(A) B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に実施しています。	(A) B・C・D・E
安全対策(事故防止等)は十分だったか。	一般滑走時の事故防止を念頭に手袋・帽子着用の徹底、リンク内の監視体制の強化、定期的な館内アナウンス放送による注意喚起を実践し、安全対策の徹底を行っています。	(A) B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法令・協定に基づき適正な管理を行っています。	(A) B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	ハローワークからの紹介等で地元出身者中心に雇用し、備品購入、修繕においても地元業者へ委託するよう配慮しています。	(A) B・C・D・E

- A : 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B : 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C : 目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D : 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適切な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E : 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★ ★ ★ ★ ☆

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

## 指定管理者の自己評価(全体を通して)

### 令和4年度 ときわ

令和4年度の営業成績は、それまで2年間続いていたコロナ禍影響による対前年度マイナス基調からプラスへ転じ、回復基調となりました。

開館日数(全291日)は、コロナ禍影響による臨時休館が無くなり、対前年度+24日(+9.0%)の増となりました。

これに伴い、利用者数(全33,770人)は、対前年度10,695人(46.3%)の増となりました。利用者数の内訳では、貸切利用者(全26,588人)は、対前年度4,955人(22.9%)の増、大会参加者(全1,313人)は、対前年度978人(292%)の増となりました。一般滑走利用者数(全3,924人)は、対前年度3,382人(+624%)の大幅増となりました。これは、新ときわでの貸切及び大会利用が前年度に対し大幅に増えたことで、一般滑走の回数を新ときわからときわへ移管(ときわでの実施回数:36→67回/年)したことによるものです。令和4年度ときわ+新ときわ両館合計の一般滑走総利用者数は、8,894人で対前年度225人(2.6%)の増となりました。

また、自主事業の内、カーリング体験は件数36回、参加者数1,127人(新ときわ分5回、119人は含まず)前年度に対し30回(500%)、926人(461%)の大幅な伸びを示し、コロナ禍前の平成31年度実績の水準までほぼ回復しています。今後もカーリング協会、旅行会社と協力し、継続して参加していただける環境づくりに努めて参ります。

利用率(全62.0%)は、対前年度17.9%の増、内訳では、貸切利用+5.4%増、大会利用+0.6%、一般滑走+2.8%増、自主事業+1.2%増、製氷整備+7.9%増となりました。

利用料収入実績(全13,065,130円)は、対前年度3,066,655円(30.7%)の増収となりました。

#### [ エネルギー等使用量の増減について ]

- ・ 前年度に対し、コロナ禍影響減少に伴う稼働率(利用率)の上昇により、電気、水、灯油とも使用量は10~20%程度増加しました。
- ・ 使用量に対する使用金額の増減率(対前年度価格変動率)は、電気が+39.6%、水が+0.1%、灯油が+7.0%となっています。

# セルフモニタリング報告書（令和4年度分）

令和5年4月30日

施設名 苫小牧市新ときわスケートセンター

指定管理者名 北海道ビル総合管理株式会社

所管課名 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価
<b>1 事業計画の達成度</b>		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	6月度に落雷による電気設備故障(全停電)で3日間の臨時休館はあったものの、それ以外は、コロナ禍影響もほぼ解消され、計画に沿って管理運営できたと判断します。	A・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	コロナ禍影響がほぼ解消され、利用者数は44,247人で、対前年度12,038人(37.4%)の増加となりました。利用率は73.2%で、対前年度5.9%の増加となりました。	A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	アイスホッケー教室は、開催13回、延参加人数130人で、対前年度3回(30%)の増、▲33人(▲20.2%)の減、カジュアルホッケーは、開催37回、参加延人数416人で、対前年度14回(60.9%)25人(6.4%)の微増で、いずれも開催回数に比し、参加者数が伸び悩む結果となりました。一方で新ときわでは前年度実施実績が無かったカーリング体験が開催5回、延参加人数119人の増となりました。	A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	隣接する公園での各種大会や町内会イベント時に参加者のための駐車場の提供したり、散歩中の市民にトイレを貸すなど、地域の皆様に寄り添った対応を心がけています。またリンク利用保護者や近隣住民からの要請があれば会議室の貸出を行っています。	A・B・C・D・E
<b>2 利用者の満足度</b>		
利用者の満足が得られているか。	アンケート調査では、「施設全体について」は、73.3%の満足度となっていますが、項目別では「利用料金」、「施設の利用日」、「施設の開館時間」、「各種教室の内容」がいずれも6割程度の満足度に留まっており、更なる改善に向けた努力が必要と考えます。今後も市民、利用者の目線に立って運営して行きます。	A・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	アンケートボックスを常設し、来館者へのお声掛けによりご要望の把握に努めています。	A・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	可能な限り迅速に対応しています。	A・B・C・D・E
<b>3 管理運営の効率性</b>		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	・通年で冷凍機1台運転を実践し電力費の低減に努めています。 ・一般滑走時の利用者ゼロの時間帯にも消灯し、節電に努めています。	A・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また経費が最小となるような取組はされているか。	経費節減のため次の作業を施設職員が行っています。 ①敷地内の草刈作業(3回/年) ②各所塗装補修作業(選手控室・通路壁、リンクフェンス内壁等) ③除雪作業(但し降雪15cm未満の場合に限る)	A・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	夏期合宿予約の際、利用先との日程連絡を確実に行ったうえで貸切日程全体を調整し無駄のない貸出を行いました。また、貸切予約のキャンセルや利用時間帯の変更等が発生した場合は、出来る限り(一般滑走を入れる等して)空白時間帯を埋め利用率の向上に努めました。	A・B・C・D・E

4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	人員配置及び職員の管理体制は、協定に基づき、適正に実施しています。	(A) B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	次の研修を実施しました。 ①普通救命講習会 ②甲種防火管理講習会(新規) ③自衛消防訓練、防災保護具装着訓練(年2回) ④ソフト勤務作成勉強会	(A) B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理にされているか(使用料の減免、還付含む)。	スポーツ協会、各関係団体と日程調整会議を行い、これに基づき公正・平等な利用処理を行っています。使用料の減免、還付につきましても条例に基づき、適正に処理しています。	(A) B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	個人情報保護法を遵守し、個人データの秘密保持と漏洩防止に努め、適正に管理しています。	(A) B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	適正に処理しています。	(A) B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に実施しています。	(A) B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に実施しています。	(A) B・C・D・E
安全対策(事故防止等)は十分だったか。	一般滑走時の事故防止を念頭に手袋・帽子着用の徹底、リンク内の監視体制の強化、定期的な館内アナウンス放送による注意喚起を実践し、安全対策の徹底を行っています。	(A) B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法に基づいた管理を実施しています。	(A) B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	ハローワークからの紹介等で地元出身者中心に雇用し、備品購入、修繕においても地元業者へ委託するよう配慮しています。	(A) B・C・D・E

- A : 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B : 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C : 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D : 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適切な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E : 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価        ★ ★ ★ ★ ☆

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

## 指定管理者の自己評価(全体を通して)

### 令和4年度 新ときわ

令和4年度の営業成績は、それまで2年間続いていたコロナ禍影響による対前年度マイナス基調からプラスへ転じ、回復基調となりました。

開館日数(全288日)は、コロナ禍影響による臨時休館が無くなり、対前年度56日(24.1%)の増となりました。

これに伴い、利用者数(全44,247人)も、対前年度12,037人(37.4%)の増となりました。利用者数の内訳では、貸切利用者(全27,050人)は、対前年度8,685人(47.3%)の増、大会参加者(全5,970人)は、対前年度2,905人(94.8%)の増となりました。一般滑走者数(全4,970人)は、対前年度▲3,179人(▲39%)の減となりました。これは貸切及び大会利用が前年度に対し大幅に増えたことにより、一般滑走の回数が対前年度▲27回/年(203→176回/年)減じたことによるものです。(一般滑走が減った分は可能な限りときわリンクへ移管しました。)

令和4年度ときわ+新ときわ両館合計の一般滑走総利用者数は、8,894人で対前年度225人(2.6%)の増となりました。

利用率(全73.2%)は、対前年度5.9%の増、内訳では貸切利用6.4%増、大会利用4.1%増、一般滑走▲6.3%減、製氷整備・他1.7%増となりました。

利用料収入実績(全16,164,740円)は、対前年度5,303,190円(48.8%)の増収となりました。

#### [ エネルギー等使用量の増減について ]

- ・前年度に対し、コロナ禍影響減少に伴う稼働率(利用率)の上昇により、電気、水、灯油とも使用量は10～30%程度増加しました。特に水の使用量増(31.5%)は、貸切・大会利用増により製氷作業(散水等)の稼働が増加したことによるものと推察します。
- ・使用量に対する使用金額の増減率(対前年度価格変動率)は、電気+39.8%、水▲2.5%、灯油+9.2%となっています。